

第56回 中国地区老人福祉施設研修大会 開催要綱

202500619

1. テーマ

『 やってみよう！ 私たちにしかできないこと』

～働きたくなる中国地区の魅力発信～ 』

2. 趣 旨

中国地区でも少子高齢化に加えて、東京をはじめとする大都市圏への若年人口流出が続いており、中国5県のおよそ80%の市町村が転出超過となっています。

私たち高齢者介護の現場でも、いよいよ団塊の世代が後期高齢者となる2025年を迎え、人材不足がさらに加速していくことが予測されています。

さらに物価・人件費の高騰等も加わり、私たちをとりまく環境は厳しさを増すばかりです。

これまでのような「私たちに也能すること」ではなく「私たちにしかできない事」を発見し、「中国地区で働きたい！」と思えるような魅力ある地域となるための道を自ら切り開き、発信していくことを目的に本研修会を開催します。

3. 主 催

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会・中国地区老人福祉施設協議会

4. 企画運営

公益社団法人 広島市老人福祉施設連盟

5. 後 援(予定)

広島市、社会福祉法人 広島市社会福祉協議会

6. 期 日

令和7年9月1日(月)～9月2日(火)

7. 会 場

第1日目(全体会):「ホテルグランヴィア広島」 広島県広島市南区松原町 1-5

第2日目(分科会): 広島県医師会館 広島県広島市東区二葉の里 3-2-3

広島県歯科医師会館 広島県広島市東区二葉の里 3-2-4

8. 参 加 者

(1) 参加定員500人

(2) 参加対象者

①中国地区老人福祉施設協議会加入施設等の職員

②中国地区老人福祉施設協議会未加入施設(各県・指定都市老人福祉施設協議会(連盟)加入施設に限る。)の職員

③その他主催者が参加を認めた者

9. 参 加 費

参加対象者①の該当者 9,000円

参加対象者②の該当者 13,000円
参加対象者③の該当者 18,000円

10. 日 程（予定）

	12:00	13:00	13:40	14:00	15:30	15:50	16:50
第1日目 9月1日(月)	受付	開会式典 (表彰式)	休憩	記念講演	休憩※	中央情勢報告	

※沖田孝司夫妻のヴィオラとピアノのミニコンサート

	9:30	10:00	12:00	13:00	16:00(予定)
第2日目 9月2日(火)	受付	分科会	休憩	分科会	

11. 表 彰 式

- (1) 公益社団法人全国老人福祉施設協議会表彰要綱により感謝状贈呈
- (2) 中国地区老人福祉施設協議会表彰内規により表彰状贈呈

12. 記念講演

前内閣総理大臣 岸田文雄 氏(予定)

「G7広島サミットー核兵器のない世界の実現について」(仮)



【プロフィール】

昭和32年7月生まれ
衆議院議員 自由民主党
広島県第一選挙区(広島市中・東・南区)
当選11回(初当選以来選挙区連続当選)

(元職)

第100代・第101代 内閣総理大臣
第27代 自由民主党総裁
自民党 政務調査会長
外務大臣
防衛大臣
内閣府特命担当大臣など

13. 中央情勢報告

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 役員(調整中)

14. 分科会

(1) 発表者、発表分科会

①発表者は、各県又は広島市の老人福祉施設協議会(連盟)からの推薦によります。

②各分科会の発表数及び発表する分科会は、各県及び広島市の推薦数や事例のテーマ区分をもとに決定します。

なお、第1分科会(特養等)は、発表事例のテーマ区分

① 認知症対応/医療・介護連携、看取り②自立支援(リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養)

③ 経営 ④ 人材確保・育成・定着

をもとに発表する分科会(A～C)を決めます。

(注)養護/軽費・ケアハウスや在宅・デイサービスの事例も内容等によっては、

第1分科会で発表することがあります。

分科会		発表 予定者 数	助言者	会場(予定)
第1分科会 (特養等)	A	12	トリニティカレッジ広島校 学科長 吉岡 俊昭 氏	広島県医師会館 ホール
	B	12	株式会社TRAPE(トラピ) カスタマーサポート 南本 憲吾 氏	広島県医師会館 201会議室
	C	12	NPO法人リハケアリングネットワーク 理事長 香川 寛 氏	広島県医師会館 301会議室
第2分科会 (養護/ 軽費・ケアハウス)		12	社会福祉法人 IGL 学園福祉会 IGL ナーシングホーム信愛の郷 施設長 河野 隆典 氏	広島県医師会館 302会議室
第3分科会 (在宅・ デイサービス)		12	めぐみ居宅介護支援事業所 管理者 鹿見 勇輔 氏	広島県歯科医師会館 ホール

(2) 発表方法(別紙「発表要領」を参照してください。)

①発表者は「発表要領」に基づき抄録原稿及び発表用データを作成して、各県及び広島市の事務局の指定する方法で、指定された期限までに提出してください。

②各事務局は発表者から提出された抄録原稿は令和7年7月18日(金)までに、発表データは令和7年7月31日(金)までに、大会事務局(広島市老人福祉施設連盟事務局)に提出してください。

③発表は、「評価基準」に基づき採点を行います。発表時間は一人15分以内とし、時間超過した場合は減点となります。

④発表後、「発表認定証」を交付します。

15. 沖田孝司夫妻のミニコンサート(予定)

出演者 ヴィオラ 沖田 孝司 氏
ピアノ 沖田 千春 氏のご夫妻

(沖田孝司氏のプロフィール)

広島県三次市生まれ。

東京音楽大学、ドイツ国立デトモルト音楽大学 卒業

ドルトムント市立ドルトムンフィルハーモニーオーケストラ在籍後

帰国して「マイハート弦楽四重奏団ひろしま」を結成

全国各地でコンサートを開催するとともに、奥様とお二人でも演奏活動を行われています。

また広島市老人福祉施設連盟のテーマソング「ここはふるさと」を作詞作曲

16. 参加申し込み

- (1) 大会参加・宿泊の申込については、下記期日までに名鉄観光サービス株式会社広島支店内『第56回中国地区老人福祉研修大会』デスクが運営する申込サイトにてお申し込みください。
申込締切: 令和7年7月18日(金) 17:00
- (2) 分科会のうち『特養等』については、希望するテーマ区分(①～④)を選んでください。
なお、研修大会当日は希望された分科会以外も聴講することは可能です。

17. 参加券並びに大会資料について

- (1) 参加券は、8月25日を目途に名鉄観光㈱の大会専用サイトにアップします。ダウンロードし必ず印刷の上お持ちください。
- (2) 大会資料も同じく8月25日を目途に名鉄観光㈱の大会専用サイトにアップしますので、必要に応じて印刷して会場にお持ちください。
- (3) 参加分科会については、会場の収容人数等によっては、申込とは異なることがあります。

18. 個人情報の取り扱い

「参加・宿泊等申込書」に記載された個人情報は、本大会の運営管理(参加者名簿を含む)及び各宿泊施設(申込者のみ)への連絡に限り使用させていただきます。なお、参加者名簿には県・市名、所属施設・事業所名、職名、氏名を掲載予定です。

19. 申込・問い合わせ先

【参加・宿泊等申込書について】

名鉄観光サービス㈱広島支店内『第56回中国地区老人福祉施設研修大会デスク

担当: 乾(イヌイ)・西上(ニシウエ)・上杉(ウエスキ)

〒732-0827 広島県広島市南区稲荷町 2-16 広島稲荷町第一生命ビル 9 階

TEL(082)263-2282 FAX(082)263-2284

【研修大会について】

公益社団法人 広島市老人福祉施設連盟事務局(担当: 永谷・高橋)

〒732-0822 広島市南区松原町 5-1 BIGFRONT ひろしま 5 階 広島市総合福祉センター内

TEL(082)207-0567

令和 7 年度 (第 56 回)

中国地区老人福祉施設研修大会事例研究発表会 発表要領

08. 070619

1 発表時間

発表制限時間 15 分以内 発表終了後 5 分程度の質疑応答 (1 事例 約 20 分予定)

2. 審査

別添 評価基準に基づき行います

3 発表内容

- ① 発表内容に関する現行制度については発表者の責任で事前にしっかり確認を行ってください。
その上で発表内容が、現制度では規制されているが利用者のためには制度の見直しや新たな制度が必要、といった場合は、規制緩和、制度提案の形で積極的に発表ください。
- ② 発表する研究や取組みが、調査研究中または継続中で、完了していなくてもかまいません。
- ③ 利用者の名前・写真等を掲載する場合、個人情報保護法の観点から、必ずご本人又はご家族の承諾を得てください。
- ④ 提出された抄録原稿・当日発表用データは、大会資料として配布 (別添の Web サイトよりダウンロード) します。また、各県・市の協議会 (連盟) が広報紙・ホームページへの掲載等する場合がありますので、ご了承ください。

4 抄録原稿データ

- ① 様式は、所属の県又は市の老施協 (連) 事務局より取り寄せてください。
- ② 抄録原稿は、紙媒体では受け付けません。(手書き不可)
- ③ 抄録原稿は、別添様式 1 に従い、Word で作成したデータファイルで提出してください。
(従来版 (概要欄が TextBox) とは別に「概要欄 word 二段組版」もお送りしています。使いやすい方をご利用ください。)
なお、データのファイル名は必ず、抄録原稿記載内容に沿って
『 (県・市名 / 種別 / 施設名 / 発表者氏名) .doc 又は docx 』として提出してください。
- ④ 抄録原稿のデータは、1 演台につき A4 サイズ 1 ページです。
- ⑤ 上下左右等の余白や各記入欄の大きさは、絶対に変更しないでください。
- ⑥ フォント (書体) やポイント (字の大きさ) 等、様式 1 で指定された設定どおり作成してください。
また色は黒一色のみ使用可能です。
- ⑦ 本文は、文字の大きさは 9 ポイントで、2 段組 (左右の 2 段に分ける) で作成してください。
- ⑧ 「キーワード」欄は、発表の取組と最も関係のあるキーワード (可能ならば、下記 7. その他の②のテーマ区分に関連したワード) を必ず 3 つ重要度順に記載して下さい。
- ⑨ 抄録の構成は、別添様式 1 を参考に、
Ⅰ. <取組み課題> Ⅱ. <具体的な取組み> Ⅲ. <活動の成果と評価> Ⅳ. <今後の課題>
Ⅴ. <参考資料など> で構成し、章の区切りにこれらの表題をセンタリング (中央揃え) で入れてください。
- ⑩ 使用する参考文献等は確実に記載し、また、許諾等が必要なデータ等は、その手続きが完了している旨記載して下さい。(特に、個人情報や著作権が含まれるもの)
- ⑪ 文書表現はできるだけ簡潔に記載してください。
- ⑫ 抄録原稿データは、データ受け付け締め切り後は差し替え、変更等認めていません。

5 当日発表用データ

- ① 抄録原稿とは別に、発表用データを作成してください。
- ② 発表用パソコンの OS は Windows 10 又は 11、パワーポイントは microsoft powerpoint 2019、2022 又は、2024 です。(分科会会場によって異なります。ご了承ください。)
(Mac や Windows の 10 より前の OS、powerpoint も 2019 より前のバージョンでの作成データは対応していません)
- ③ 動画変換ソフトは、Windows media player 12 です。(MP4、quicktime 等には対応していません。)
- ④ スライド枚数は発表時間を踏まえ、15 枚程度 (1 スライド 1 分程度) です。
- ④ 当日発表に使用するパソコンはネット接続をしております。

- ⑤ 発表用データを提出する前に、上記②③仕様のパソコンでデータ等の確認（文字化け、データ表示のずれ、動画音声の再生状態などを含めて）してください。
- ⑦ スライドで使用するデータは客観的なものを使用してください。
- ⑧ スライドの内容は、用語を含めて短時間で理解しやすいものにしてください。
- ⑧ スライドで使用する色やフォント・文字の大きさなどは、会場全体から見やすいよう作成して下さい。
- ⑨ スライドで引用した文献等や参考にした文献等はスライドに必ず記載してください。
特に許諾が必要なものは、事前に許諾を受けた上で、スライドに許諾を受けている旨を記載して下さい。
(特に、個人情報や著作権が含まれるもの)
- ⑩ 発表用データは、②・③で指定した OS 並びにソフトで作成した、PowerPoint データをファイルで提出して下さい。
なお、抄録原稿と同じく データのファイル名は必ず、抄録原稿データと同じく『(県・市名 / 種別 / 施設名 / 発表者氏名) .pptx として提出してください。

6 当日の発表

- ① 発表に使用するパソコンは、主催者が準備したものを使用していただきます。
- ② パソコンの操作は、発表者本人もしくは発表補助者（操作する人）で行ってください。
- ③ 発表の際は、手元に原稿を用意してください。
- ④ 発表時間は 15 分です。審査員が時間になればベルでお知らせします。
- ⑤ 発表時間を超過した場合は減点になるとともに、場合によっては司会が発表の中断を指示します。

7 その他

- ① 試写（発表者による、当日使用予定のパソコンを使つてのデータチェック）
前日の午後予定しています。
勤務調整できれば、なるべくご参加ください。
- ② 12 月に山口県で開催される全国老人福祉施設大会・研究会議～J S フェスティバル in 山口～への推薦事例は、テーマ区分ごとに 1 事例です。
 - ① 認知症対応／医療・介護連携、看取り
 - ② 自立支援（リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養）
 - ③ 経営
 - ④ 人材確保・育成・定着
 - ⑤ 在宅、デイサービス
 - ⑥ 軽費老人ホーム・ケアハウス
 - ⑦ 養護老人ホーム
- ③ 全国老人福祉施設大会への推薦事例は、中国地区大会終了後
9 月 16 日（火）を目途に、各県、広島市の事務局を通じてお知らせする予定です。

下記様式の変更は不可。提出用は記入例等（※）削除して作成ください。
 共同研究者で当日、発表者と登壇される方は名前の後ろに＊を付してください。（様式 1）
 注 発表認定証には、発表者及び共同研究者（個人に限る）」を記載します。

分科会場 ※事務局が使用します。		演題 16p、右寄せ、下付き線	
キーワード 1 12p キーワード 2 12p キーワード 3 12p		副題 13p、右寄せ	
都道府県名・市町村名 12p		ふりがな 8P 種 別・施設名 12p、右寄せ	
ふりがな 8P 職種・発表者氏名（＊） 12P		共同研究者（いる場合）＊ 12p、右寄せ 共同研究者（いる場合）＊ 12p、右寄せ	
E-mail Address もしくは Fax 番号 12p、右寄せ			
今回の発表の施設 またはサービスの 概要 9p		施設と実施サービスの概要、市町村や地域の高齢者や環境などを含む施設説明を記載してください。また、本番の発表ではこれらのうち課題の理解に直接重要な関係あることに、少しでも多くの時間を割いてください。	
※記入例 <題目> 9p・MS ゴシック 概要欄本文 9p・MS 明朝 I. <取り組んだ課題> ※ ここでは、今回の取り組みをはじめるきっかけとなった状況や、抱えていた課題を具体的に記載してください。箇条書きにできれば、理解しやすいと思います。		III. <活動の成果と評価> ※ 今回の取り組みの成果をなるべく箇条書きで、極力具体的な数値を示して記載してください。 また、成果や取り組みに対するご利用者の反応、自己評価（うまくいった、失敗だった、このような所が足りなかった）なども、積極的に記載してください。	
II. <具体的な取り組み> ※ 問題解決のための取り組みの具体的な内容 <対象者、その割合と理由、取り組みの具体的な手法、取り組み時間や期間、取り組みの手順、取り組んだ職員数や構成、部所間の連携、必要とした道具や費用など、活動成果を出すポイントになった点>を記載してください。 特に、費用や必要な時間は、他の方々が取り組む際の参考になるように、分かる範囲で積極的に記載してください。 また、できるだけ箇条書きで記載するようにしてください。		IV. <今後の課題> ※ 今回の取り組みの成果を踏まえ、今後さらにどのような取り組みを行うかを記載してください、事例によっては、「この取り組みは終了」というのでも構いません。	
※<参考資料など> ※① 参考文献等は、確実に記載してください。 （許諾等が必要なものは、『手続き完了』を含めて）			

下記様式の変更は不可。提出用は記入例等（※）削除して作成ください。
共同研究者で当日、発表者と登壇される方は名前の後ろに＊を付してください。（様式1）
注 発表認定証には、「発表者及び共同研究者（個人に限る）」を記載します。

分科会場		演題 16p、右寄せ、下付き線	
※事務局が使用します。			
キーワード1 12p	キーワード2 12p	副題 13p、右寄せ	
キーワード3 12p		ふりがな 8P	
都道府県名・市町村名 12p	種 別・施設名		12p、右寄せ
ふりがな 8P		共同研究者（いる場合）＊ 12p、右寄せ	
職種・発表者氏名（＊） 12P		共同研究者（いる場合）＊ 12p、右寄せ	
E-mail Address		もしくは Fax 番号 12p、右寄せ	
今回の発表の施設 またはサービスの 概要 9p		施設と実施サービスの概要、市町村や地域の高齢者や環境などを含む施設説明を記載してください。また、本番の発表ではこれらのうち課題の理解に直接重要な関係あることに、少しでも多くの時間を割いてください。	
※記入例 <題目> 9p・MS ゴシック 概要欄本文 9p・MS 明朝 I. <取り組んだ課題> ※ ここでは、今回の取り組みをはじめるきっかけとなった状況や、抱えていた課題を具体的に記載してください。箇条書きにできれば、理解しやすいと思います。 II. <具体的な取り組み> ※ 問題解決のための取り組みの具体的な内容<対象者、その割合と理由、取り組みの具体的な手法、取り組み時間や期間、取り組みの手順、取り組んだ職員数や構成、部所間の連携、必要とした道具や費用など、活動成果を出すポイントになった点> を記載してください。 特に、費用や必要な時間は、他の方々が取り組む際の参考になるように、分かる範囲で積極的に記載してください。 また、できるだけ箇条書きで記載するようにしてください。		III. <活動の成果と評価> ※ 今回の取り組みの成果をなるべく箇条書きで、極力具体的な数値を示して記載してください。 また、成果や取り組みに対するご利用者の反応、自己評価（うまくいった、失敗だった、このような所が足りなかった）なども、積極的に記載してください。 IV. <今後の課題> ※ 今回の取り組みの成果を踏まえ、今後さらにもどのような取り組みを行うかを記載してください、事例によっては、「この取り組みは終了」というのでも構いません。 ※<参考資料など> ※① 参考文献等は、確実に記載してください。（許諾等が必要なものは、『手続き完了』を含めて） ② この事例と同様の取り組みを行おうとした時に、参考とすべき資料があれば記載してください。	

第 56 回中国地区老人福祉施設研修大会 分科会発表評価基準

20250610

【趣 旨】

この基準は、第 56 回中国地区老人福祉施設研修大会において、各施設において実践していくことができる効果の高い発表を評価するものです。

本基準に基づいて作成した審査票により採点を行い、第 4 回全国老人福祉施設大会・研究会議へ推薦する事例を選出します。

【評価基準の概要】

次の評価項目を各 5 点満点で採点し、審査をします。また、発表の独自性や内容に関する踏み込んだ評価等に関しましては、審査員寸評にて 10 点満点で審査します。

なお、発表時間（15 分間）をオーバーした場合は、3 点減点となります。

1 企画力（発表以前の取り組みの評価）各 5 点（計 15 点）

取り組みの発端となる着眼点が科学的根拠に基づき、現在の高齢者福祉ニーズに応えるもので、その過程が適切なものであり、抄録原稿及び当日発表資料が論旨明快かつ簡潔であったかを検証します。

評価項目	① 取り組みにおける問題意識が科学的根拠に基づき、現在の高齢者福祉のニーズに応えるものである。
	② 抄録原稿に取り組みと関係の深いキーワードが記載されており、内容の把握が参加者にとって容易である。
	③ 当日の発表資料で箇条書きやグラフがうまく使われ、参加者が理解しやすいように工夫がなされている。

2 発表力（発表時の評価）各 5 点（計 15 点）

参加者が会場内のどこにいても発表内容が伝わる簡潔性と明確性を備えた発表であったかを検証します。

評価項目	① 抄録原稿と発表資料の説明が統一されて、参加者にとって見易い。
	② 発表態度（声の大きさ、身振り手振り、目配り）が参加者にわかりやすく、ポイントを押さえた簡潔な話である。
	③ 会場内の質疑に対し、適切に応答できている。

3 応用力（発表後における会場参加者への貢献性の評価）各 5 点（計 10 点）

参加者が持ち帰ることのできる有益な発表内容であったかを検証します。

評価項目	① 発表内容が他施設の参考となる発表内容である。
	② 分析に基づいて次の段階に結びつく適切な考察がなされている。

4 審査員寸評（10 点）